

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	消防関係各種負担金	担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間 年度～
	施策	消防・救急の充実	種別 任意の事務
	基本事業	消防体制の強化	市民協働
予算科目コード	01-090102-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
災害現場における消防及び救急業務の迅速かつ効率的な運用を図るため、各種協議会が設置された。	毎年度、関係機関主催の会議や研修会に参加しており、事業費に応じた負担金を支出している。 （関係機関） ・公益財団法人 茨城県消防協会 ・茨城県高速自動車道等消防協議会 ・茨城県防災ヘリコプター運航連絡協議会
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
消防等に関する各種協議会に負担金を支出し、体制を整備することで、災害等による被害を最小限に抑えることが期待できる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
火災現場への迅速な出動や消火が行える体制を目指す。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了					

コストの推移						
	項目	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	1,108	1,128	1,178	1,210	1,210
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,108	1,128	1,178	1,210	1,210
	正職員人工数（時間数）	5.00	12.00	0.00	0.00	0.00
	正職員人件費	21	49	0	0	0
	トータルコスト	1,129	1,177	1,178	1,210	1,210

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	消防車両器具維持管理事業	担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間
	施策	消防・救急の充実	年度～
	基本事業	消防体制の強化	種別
市民協働			
予算科目コード	01-090102-03 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
消防団が迅速かつ効率的な活動を行うため、消防車両及び消防用可搬ポンプ等の維持管理を実施している。	消防車両等の点検・整備を実施し、災害時における消防活動を迅速に行う。 2箇月に1回、各分団ごとに車両と機械器具等の点検を実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
消防団に配備した消防車両及び機械器具の維持管理を行い、災害時の緊急出動に備える。	
（参考）基本事業の目指す姿	
火災現場への迅速な出動や消火が行える体制を目指す。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
消防車両15台中12台が購入から10年以上経過しているため、部品交換等による修繕費の増加が見込まれる。緊急出動に備え不具合箇所の早期発見に努める必要がある。 また、平成29年3月12日の改正道路交通法施行以降に普通免許を取得した団員については、現在のポンプ車の運転が制限されることから、ポンプ車更新の際には、3.5トン未満の車両を検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月…5分団消防車両車検</li> <li>・ 9月…3分団消防車両車検</li> <li>・ 10月…2,6分団消防車両車検</li> <li>・ 1月…4,13分団消防車両車検</li> <li>・ 消防車両の使用年数…20年</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
2箇月に1回、各分団車両及び機械器具等の点検を実施し、適切な維持管理に努めている。 また、今後のポンプ車更新を見据えて3.5トン未満の消防車両の展示会等に参加し検討を進めている。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	消防車両の修繕料や車検代などの経費である。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
消防団員自らが消防車両や機械器具の点検を行い、車両装備知識の向上と災害時の緊急出動に備えた。	災害時の活動に備えるため、車両や機械器具の点検整備を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
消防車両台数（台）	16.00	15.00	15.00	15.00	15.00
消防車両の点検整備回数（回）	96.00	90.00	90.00	90.00	90.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	災害時等の緊急出動に備えるための消防車両や機械器具の維持管理経費のため、成果に変動はない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	災害時の緊急出動と円滑な活動を行うため、車両と機械器具の維持管理を継続していく。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	2,305	1,651	1,492	4,354	4,354
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,305	1,651	1,492	4,354	4,354
正職員人工数（時間数）		80.00	78.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		328	320	0	0	0
トータルコスト		2,633	1,971	1,492	4,354	4,354

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	消防施設整備事業	担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間
	施策	消防・救急の充実	年度～
	基本事業	消防体制の強化	種別
市民協働			法定+任意
予算科目コード	01-090103-01 単独	根拠法令・条例等	消防法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>消防施設の充実と火災発生時の速やかな消火活動を行うため、消火栓や消防用具格納箱等の整備・更新を実施している。</p>	<p>消火栓用消防用具格納箱、防火水槽、AED等の整備・更新を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防用具格納箱は、市民からの要望により設置する。</li> <li>・AED機器のパッドは2年、バッテリーは4年、本体は7年毎に更新する。</li> </ul>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>消防施設の充実により、火災発生時における迅速な消火活動や人命救助のための環境整備が図られる。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>火災現場への迅速な出動や消火が行える体制を目指す。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>設置年数が古い消防用具格納箱の劣化が進んでおり、更新が必要である。更新対象となる格納箱は今後も増加する見込みである。 また、供用開始から30年以上経過している消防機械器具置場が6施設あるため、計画的に建替えを行っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火栓用消防用具格納箱の交換（通年） 交換数…13箇所</li> <li>・防火水槽の撤去、修繕（通年） 修繕数…1箇所、解体数…1箇所</li> <li>・消防機械器具置場の建替え等は、消防団員をメンバーとした詰所検討委員会により意見の集約を行う。</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>消防団と消防署による調査・点検を行い、更新が必要な格納箱の把握に努める。 消防機械器具置場の建替え等については、近隣自治体の事例を参考に検討を進めて行く。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>消防用具格納箱の更新や機械器具置場等の修繕費用のため必要である。</p>

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
<p>設置年数が古い消防用具格納箱については腐食が進んでいるものもあり、格納箱内の用具を使用する際には錆等の影響で支障をきたすおそれもあるため、格納箱の速やかな交換が必要である。</p>	<p>消防団，消防署，自主防災組織等により消防用具格納箱の点検を行い，不良箇所の早期発見・交換に努めた。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
消火栓消防用具格納箱新設・交換数（箇所）	15.00	25.00	21.00	25.00	25.00
AED設置台数（台）	31.00	33.00	33.00	33.00	33.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	消防用具格納箱の新設と交換を行い，消防施設等の適正な維持管理に努めた。 また，学校等の避難所に設置しているAEDの設置場所を，平成29年度に屋内から屋外に変更したことで，人命救助における環境整備の充実を図った。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	火災時等の円滑な消火活動を行うため，消防施設（消防用具格納箱等）の整備と維持管理を継続していく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	44,241	8,050	3,474	5,963	26,263
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4	4	4	4	4
	一般財源	44,237	8,046	3,470	5,959	26,259
正職員人工数（時間数）		74.00	251.00	481.00	0.00	0.00
正職員人件費		303	1,029	2,008	0	0
トータルコスト		44,544	9,079	5,482	5,963	26,263